

2016年10月17日

日興アセットマネジメント株式会社

## アジアリートファンド（毎月分配型） 2016年10月決算と今後の見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「アジアリートファンド（毎月分配型）」は、2016年10月14日に決算を行ないました。

今回の決算において当ファンドは、市況動向や基準価額に対する分配金額の水準などを総合的に勘案し、分配金を引き下げてその差額を内部留保することで信託財産の成長をめざすことと致しました。

次ページ以降で、分配金額を変更した背景や市況動向、今後の見通しなどについてQ&A形式でご説明しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、「アジアリートファンド（毎月分配型）」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 分配金額と基準価額

分配金額 (税引前、1万口当たり)	2016年9月	200円
	2016年10月	150円
	2016年10月までの 設定来累積額	7,230円
2016年10月14日現在の基準価額 (税引前分配金控除後、1万口当たり)		8,047円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジアリートファンド（毎月分配型）」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q1. なぜ分配金額を変更したのですか

基準価額に対する分配金額の水準が高まっていることや、分配金額を減らすことで期待される運用資産増加の効果などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金額を引き下げることと致しました。

### <設定来の基準価額の推移>

2012年8月6日(設定日)～2016年10月14日



### <分配金の実績(税引前、1万口当たり)>

(2016年10月14日現在)

2012年11月～ 2013年1月	2013年2月～ 2013年6月	2013年7月～ 2014年7月	2014年8月～ 2016年9月	2016年10月	直近1年間累計	設定来累計
60円/月	80円/月	100円/月	200円/月	150円	2,350円	7,230円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジアリートファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

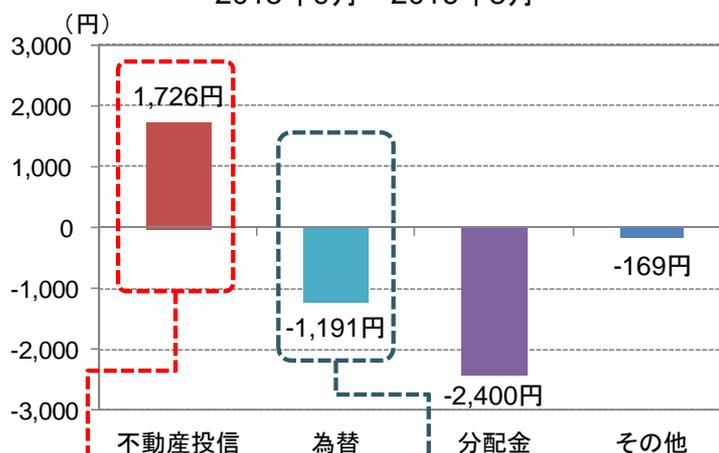
## Q2. ファンドの運用状況について教えてください

- 2015年9月から2016年8月の1年間の運用状況をみると、基準価額の騰落額は▲2,035円となりました。
- 基準価額変動の要因分解をみると、不動産投信要因がプラスとなり、基準価額の下支えに寄与したものの、為替要因がマイナスとなりました。
- また、この期間にお支払いした分配金額の合計は2,400円(税引前、1万口当たり)となっており、分配金額を考慮した騰落額(運用損益)は+365円となりました。

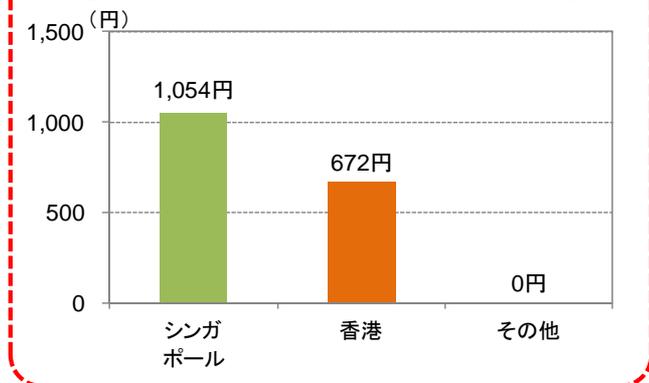
＜基準価額騰落の要因分解＞  
2015年9月～2016年8月

【基準価額の騰落】

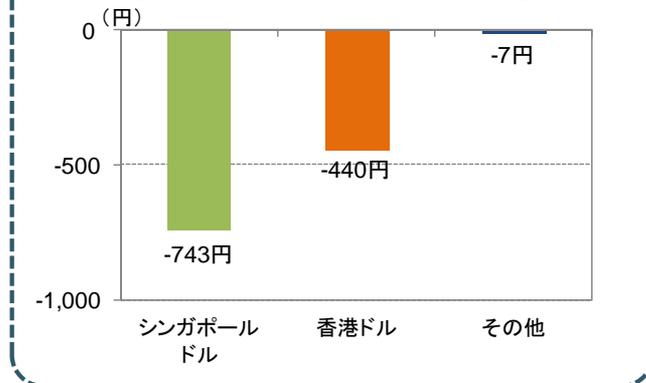
<b>2015年8月末現在</b>
10,540円
<b>2016年8月末現在</b>
8,505円
<b>基準価額の騰落</b>
▲2,035円



【不動産投信の国・地域別要因分解】



【為替の国・地域別要因分解】



※ 上記要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご参照ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジアリートファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

### Q3. 足元の投資環境について教えてください

- シンガポールと香港のリート市場は、2016年2月以降、中国景気の先行きに対する過度な悲観が後退したことに加え、主要先進国で長期金利の低下が続く中、相対的に高い分配金利回りが選好されたことなどを背景に、上昇しました。
- その後、8月以降は、米国の早期利上げ観測の高まりなどを背景に、下落する場面もみられましたが、足元で底堅い推移となっています。
- 為替市場では、2015年12月以降、世界経済の減速懸念などを受けた投資家のリスク回避の円買い需要などから、シンガポールドルや香港ドルに対して円高が続く展開となりました。

＜シンガポールおよび香港のリート指数の推移＞  
2015年8月末～2016年9月末



\* S&Pリート指数の各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)を使用

＜シンガポールドルおよび香港ドル(対円)の推移＞  
2015年8月末～2016年9月末



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## Q4. 今後の見通しについて教えてください

### 低金利環境のなか、シンガポールや香港のリートの高い分配金利回りが選好されると期待

米国景気の回復は緩やかなものにとどまるとみられること、また、英国のEU(欧州連合)離脱が国民投票で選択されたことなどを背景に、欧州と英国はデフレリスクに直面しているとみられることなどから、先進国を中心とした低金利環境は継続すると考えています。そのようななか、シンガポールや香港のリートの分配金利回りは他の国・地域と比較しても高く、魅力的な水準であると考えられるため、引き続き注目が集まると期待されます。ただし、今後も世界的に政治動向や国際情勢に振られる展開が続くことが想定されるため、慎重姿勢で運用に臨みます。当ファンドの運用については、現地の事情を踏まえた柔軟な銘柄選別を行ない、バリュエーションが魅力的な中型銘柄に注目していく方針です。

以下では、地域別にご説明いたします。

#### シンガポール



2017年にかけてオフィスの新規供給の増加が見込まれることから、オフィス賃料は下落サイクルにあるとみられています。しかし、2018年以降の新規供給は落ち着く見込みであることから、オフィスの賃料は2017年に底を打ち、回復に向かうと期待しており、オフィスセクターに注目しています。また、2016年のシンガポールのリート市場では、IPOを含む市場からの資金調達金額が過去数年と比較して増加しており、更なるリート市場の拡大が期待されます。

#### 香港

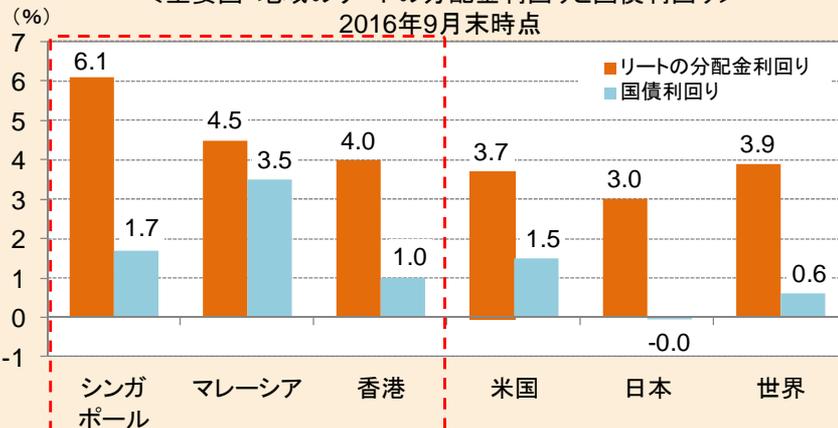


香港では、オフィスの空室率が非常に低いなか、中国本土企業によるオフィス需要が高いことから、賃料の上昇が続いています。さらに、今年11月に開始が計画されている深セン・香港ストックコネクにより、中国本土の金融機関などからの新たなオフィス需要が発生するとみられることは、オフィスセクターにとってさらなる追い風になると期待されます。

上記は、当ファンドの実質的な主要投資対象である「アジアリートマザーファンド」を運用する日興アセットマネジメントアジアリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

### ご参考: 魅力的な水準にあるアジアのリートの分配金利回り

<主要国・地域のリートの分配金利回りと国債利回り>



リートの分配金利回り: S&Pリート指数の各国・地域別指数の利回り  
 国債利回り: シンガポール、マレーシア、香港、日本、米国は10年国債利回り、世界はシティ世界国債インデックスの最終利回り  
 ※利回りは切り捨てにて端数処理しています。  
 (信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジアリートファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## Q5. 分配金を多く支払うファンドに乗り換えた方がいいですか

分配金はファンドの運用成果の一部として、決算日における受益者(投資者)の皆様に、当該ファンドの信託財産の中から支払われるものです。こうしたことから、分配金が支払われると、当該分配金の分だけ基準価額は低下します。

ファンドで得られた収益などをどのように配分する(分配金として支払う/内部留保として投資に振り向ける)かは、各ファンドによって異なることから、分配金額の多い/少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではありません。

よって、ファンドへの投資成果を検証される場合には、投資資金に対する分配金額の多寡ではなく、基準価額の変動額と受取分配金を合わせた総合的な投資収支(=トータルリターン)をもって行なうことが、重要であると考えます。

### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



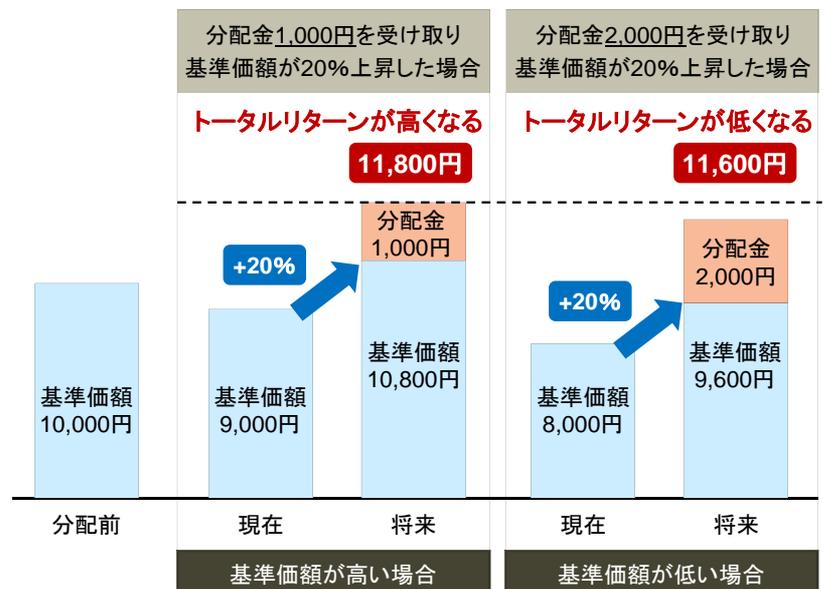
※上記はイメージ図です。

## Q6. 引き下げられた分の分配金はどこに行ったのですか

分配金額の引き下げに伴う差額はファンドの信託財産に留保され、運用に振り向けられます。

そのため、投資資産の値上がりなどにより基準価額が上昇する局面では、分配金額を引き下げてファンドの基準価額を高く保った方が、分配金を多く支払って基準価額が低くなった場合に比べ、基準価額の上昇幅が大きくなります。

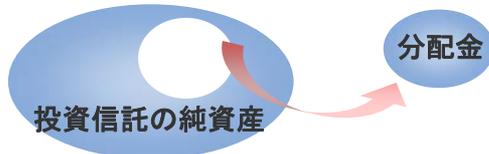
### 分配金額の違いによる基準価額上昇時のイメージ



収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

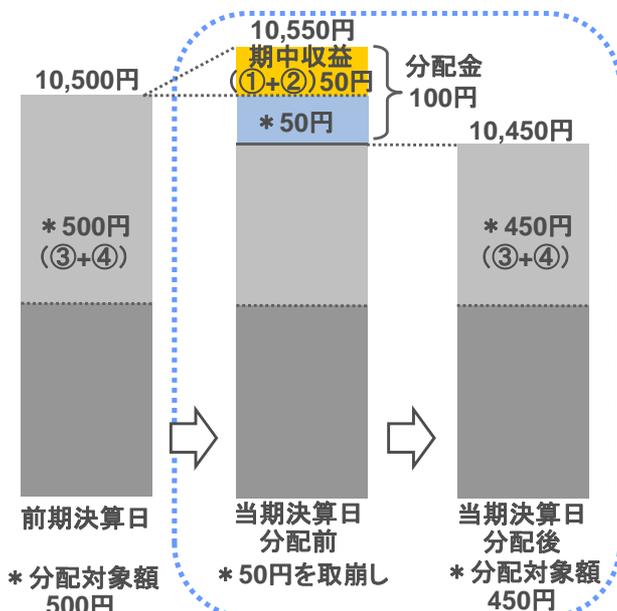
投資信託で分配金が支払われるイメージ



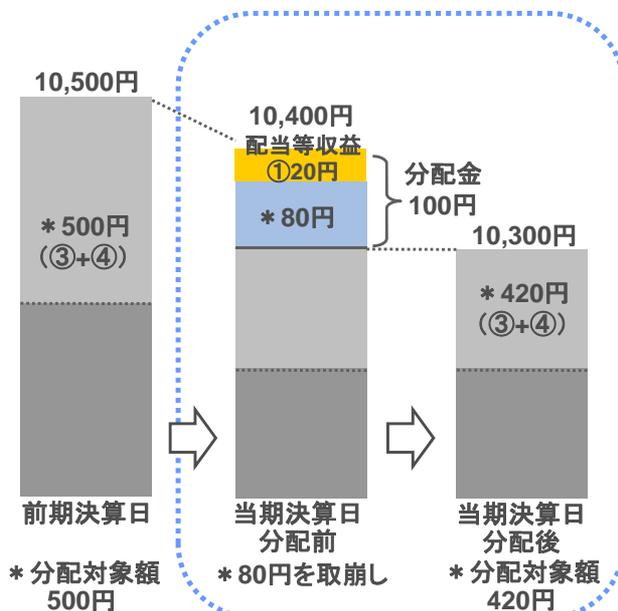
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

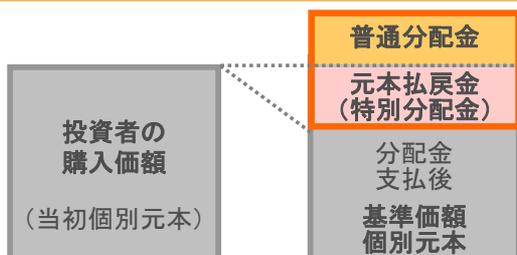


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

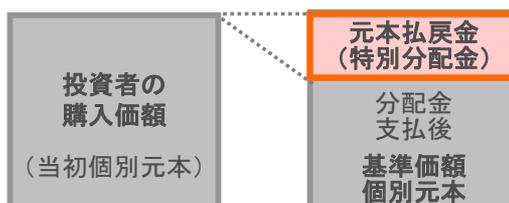
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジアリートファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／不動産投信
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が香港証券取引所の休業日またはシンガポール証券取引所の休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2022年3月15日まで(2012年8月6日設定)
- 決算日 : 毎月14日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が香港証券取引所の休業日またはシンガポール証券取引所の休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

- 換金手数料 : ありません。

- 信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.62%(税抜1.5%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。  
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.972%(税抜0.9%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.648%(税抜0.6%)程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。  
詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- その他費用 : 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みに際しての留意事項

### リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に不動産投信を実質的な投資対象とするファンドです。また、株式にも投資を行なう場合があります。したがって、不動産投信および株式の価格の下落や、不動産投信および株式の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。  
(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「アジアリートファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

## 委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
[ホームページ]http://www.nikkoam.com/  
[コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○		○	
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順・資料作成日現在)